

もう、止まらない!! 「開幕5連勝」!!



前半25分にゴールを決めた坂本一輝（右）と、笑顔で祝う鈴木慎吾（左）
(写真=岡田浩弥)

3月20日（水）に行われた2013Sリーグ第5節（ジャランベサル・スタジアム）は、アルビレックス新潟シンガポールがYoung Lionsに1-0で勝利。これで開幕5連勝スタートとなりました。優勝候補のHome UnitedやDPMMを向こうに、全て一点差ゲームを勝ちきっているアルビ。「この強さはホンモノだ!」と、各メディアの注目度もぐんぐん上がってきています。

「もう、アルビが止まらない!」

ア ル ビ 新 聞

Albirex Niigata FC
Singapore
21 Jurong East St 31
#04-04 Jurong East
Sports Complex
Singapore 609517

URL
<http://albirex.com.sg/>

Tel : +65 6334 0511
Fax : +65 6334 0510



公式戦 スケジュール

S. LEAGUE

3月26日（火）
vs Woodlands
19:30 @Woodlands

4月2日（火）
vs Tanjong Pagar
19:30 @Jurong East

4月12日（金）
vs Geylang
19:30 @Jalan Besar

4月19日（金）
vs Tampines
19:30 @Jurong East

4月23日（火）
vs Balestier
19:30 @Toa Payoh



<http://www.facebook.com/ANFCS>



http://twitter.com/ALB_S_FC

4月27日は、 スクールイベント!

アルビSの選手たちと一緒にサッカーができる、毎月大好評のスクールイベント。来月は4月27日にJurong East Stadiumにて開催予定です。
このスクールイベント、実は、選手たちもかなり楽しみにしています。「アルビの子どもたちと一緒にボールを蹴るのは、選手たちにとつてとてもいいリフレッシュになります」（トップチーム・佐々木コーイチ）とのことです。
遠慮せずに選手たちに聞きたいことを聞いてみよう!



U-8

ゆみせんには、 せいはいは、 !

3がつからチアリーダーにゆみせんせいがありました。アルビレックスにいたプロのチアリーダーをやっていた、いたいたしたあとはチアダンススクールのせんせいをたんとうしていました。

これから、みなさんとゆうきとげんきとえがおをがんばります!





博士にクエスチョン

チャントってなあに？

Vol.3

今月は「チャント」について解説するぞ。とは言っても「ちゃんと片付けなさい！」の、ちゃんととは違うんじゃないや。

そもそも、宗教や伝統芸能で、リズムに合わせて歌を歌ったり文章を読んだり、というのがチャントなのじゃが、一般的にサッカーの世界では、チームや選手を応援するときに使う歌などのことを指すんじゃないや。みんなも日本代表やヨーロッパの試合をTVで観たりするじゃろ。そのときにサポーターのみんなが歌っているのが、チャントじゃ。

スタジアムに来て応援してくればわかると思うんじゃないやが、アルビレックス新潟シンガポールの選手たちにもチャントがあるぞ。例えば、鈴木慎吾選手。

「シンゴゴゴゴ、シンゴゴゴゴ、シンゴゴゴゴ！」ってな具合じゃ。

大声を出す気持ちいいし、その選手が頑張っているのを観ると、何とも嬉しくなってくるから、みんなもぜひ、スタジアムでチャントを歌ってみるといいと思うぞ。



10th Anniversary T-Shirts on Sale!!



February



March

写真は既に完売した2月Tシャツ（上）と、Sサイズが完売した3月Tシャツ（下）

10周年記念！たった S\$29.00！

10ヶ月連続 gol. オリジナルTシャツ大好評販売中！

2013シーズンは記念すべき年。アルビレックス新潟シンガポールの創立10周年記念です。アパレルスポンサーのgol.さんと協力し、10周年記念Tシャツを2月から10ヶ月連続で発売中です。

◆おトクポイント①

オシャレ度に定評のあるgol.さん入魂のデザインは、アルビにちなんだものでありながら毎月変更。しかもカラーも毎月違うということで、シンガポール国内だけではなく、日本からも大注目！

◆おトクポイント②

シンガポール国内で購入される場合、わずかS\$29と、通常のgol.さんのTシャツでは考えられない価格設定！

◆おトクポイント③

2月から11月までそれぞれのデザインに漢数字で通し番号が！

◆おトクポイント④

超数量限定発売！再販予定ナシ！

アルビレックス新潟シンガポールの公式WEBサイトにて毎月販売状況を更新しますので、ぜひ、お見逃しなく！

保護者の皆様へ

3月から4月にかけて、いつも寂しい気持ちに包まれます。そう、毎年恒例の別れの季節です。海外生活という土地柄ですので仕方ありませんが、今年も私の友人がたくさんシンガポールを離れます。

先日、日本人幼稚園の卒園式にご招待いただいたので参列させていただきました。ハツラツとした子どもたちの姿勢と、素晴らしい式の進行は大変感動しました。そこで観たのは先生方の涙、涙、涙。入場の際に既に溢れていた涙に、もうすぐで「もらい泣き」しそうでした。一方で、子どもたちはあっけらかんとお別れの歌を元気に歌っています。

以前、友人と「子どもたちが案外さっぱりとしているのは日本で住む子どもたちより、別れに慣れているのかもしれないね。」と話をしていたのを思い出しました。アルビレックスを通じて友人になった子どもたち同士が、また世界のどこかで巡りあう。そんなことが当たり前にイメージできるのかもしれない。私が子どもの頃はそんなこと想像すらできませんでしたが、シンガポールに住む子どもたちは当たり前前に感じているのだろいうなあ、と、不思議な気持ちと誇らしい気持ちがなймаぜになつて、思わずニヤニヤしてしまいます。

(アルビ新聞編集長・是永大輔)